

じきゆうそう大かい

御津南部小・1 岡田 紗和

十二月のじきゆうそう大かいにむけて

かけ足うんどうが はじまった

はしるのは五ふん

いつもは みじかくかんじるのに

とてもながくかんじた

はじめは はしりはじめると

すぐにくるしくなつて

ぜんぜんはしることができなかつた

もくひようは 四しゆうはしること

れんしゆうをつづけていくと

だんだん はしれるようになってきた

たいいくのじゆぎようで

ほんばんと おなじコースをはしつた

六百メートルつて ながいとおもつた

でも がんばるぞ とおもい

大かいのもくひようは

九いになることにした

いよいよ大かいの日

はしるまえは ときどきした

男子がさきにはしる

わたしは はしっている子をおうえんする

みんな がんばっているとおもつた

つぎは わたしのぼんだ

スタートラインにならんだ

こうちよう先生のピストルがなる

わたしは いっしょうけんめいはしつた

すぐにいきがくるしくなつてきた

そのとき

「がんばれ」

おかあさんのおうえんがきこえた

おうえんをきいて ゆうきがわいた

くるしいけれど

さいごまでがんばつた

いつもより はやくはしれたとおもつた

けつかは 十九い

くやしかつた

つかれたけど おもいつきりはしつた

らい年もがんばりたい